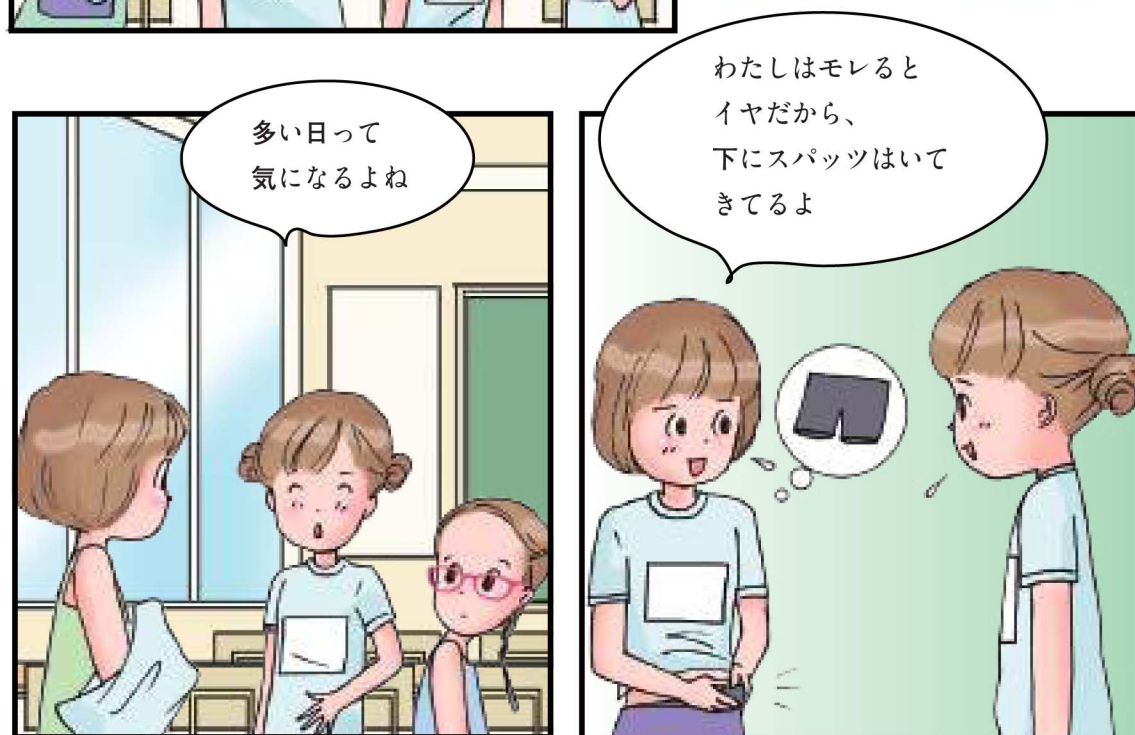
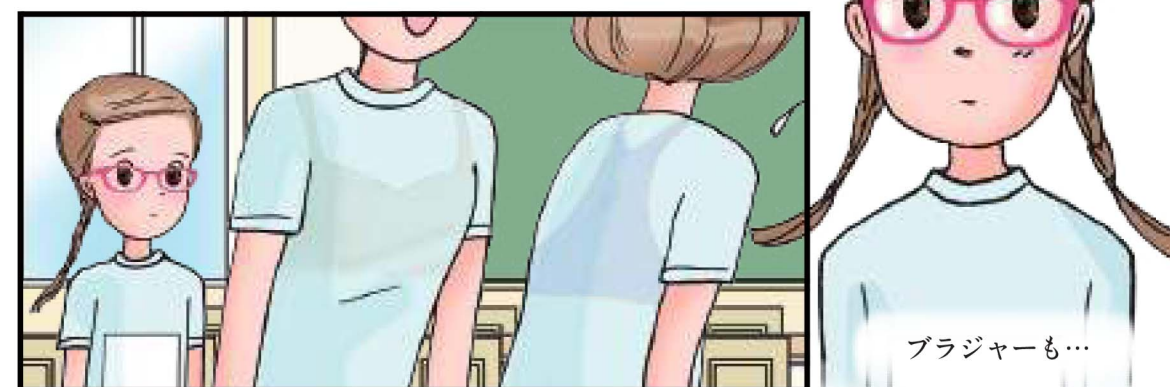


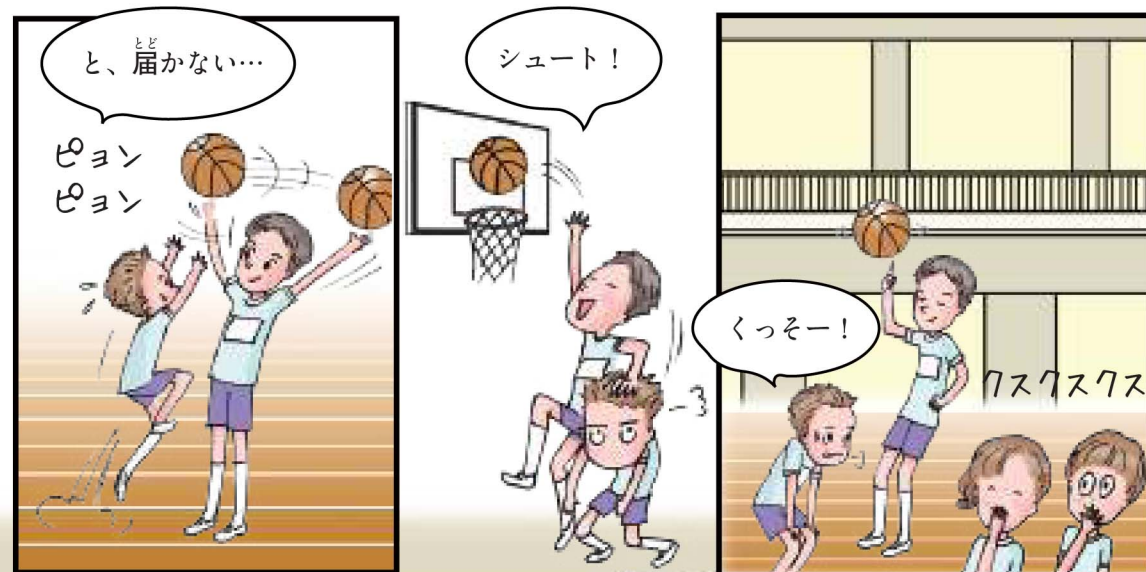
友だちとくらべて 自分は……



もうクラスの半分の子には
生理がきてるのに

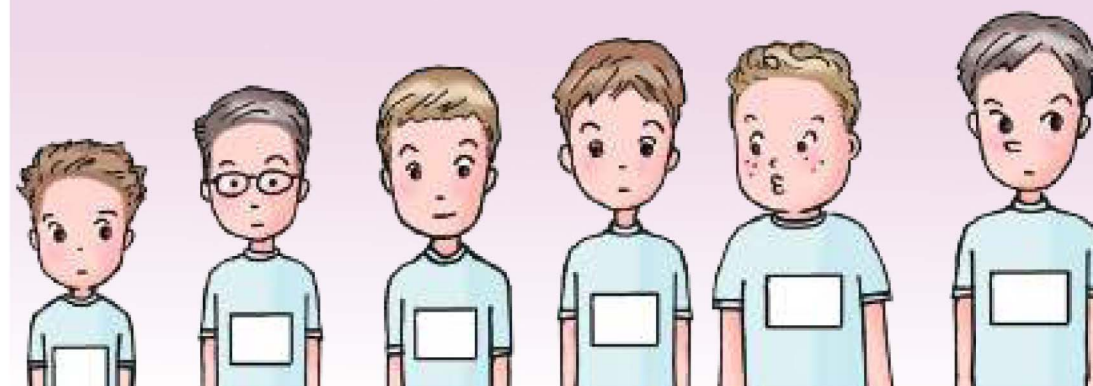
わたしにはなかなかこない



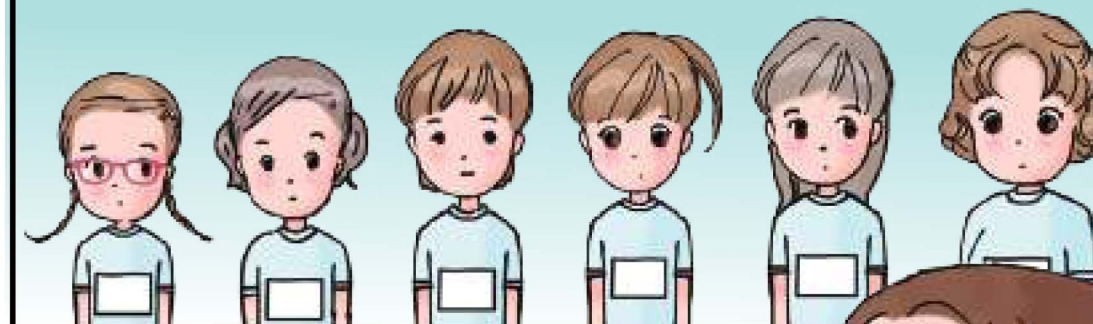


体育の授業のたびに思う

同じ6年生なのに

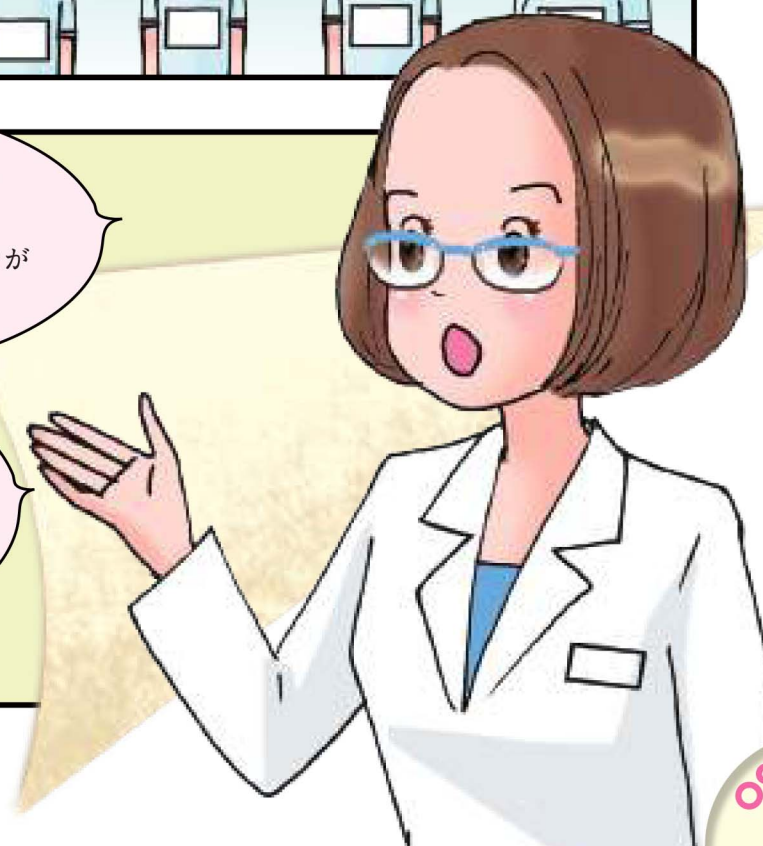


どうしてこんなにちがうんだろう?!



10才で生理がくる子もいれば、14才でくる子もいる。
“普通(正常)”の範囲は、みんなが思っているよりも広いんです!

成長のスピードはまちまちだから、身長や体型も気にしなくても大丈夫ですよ



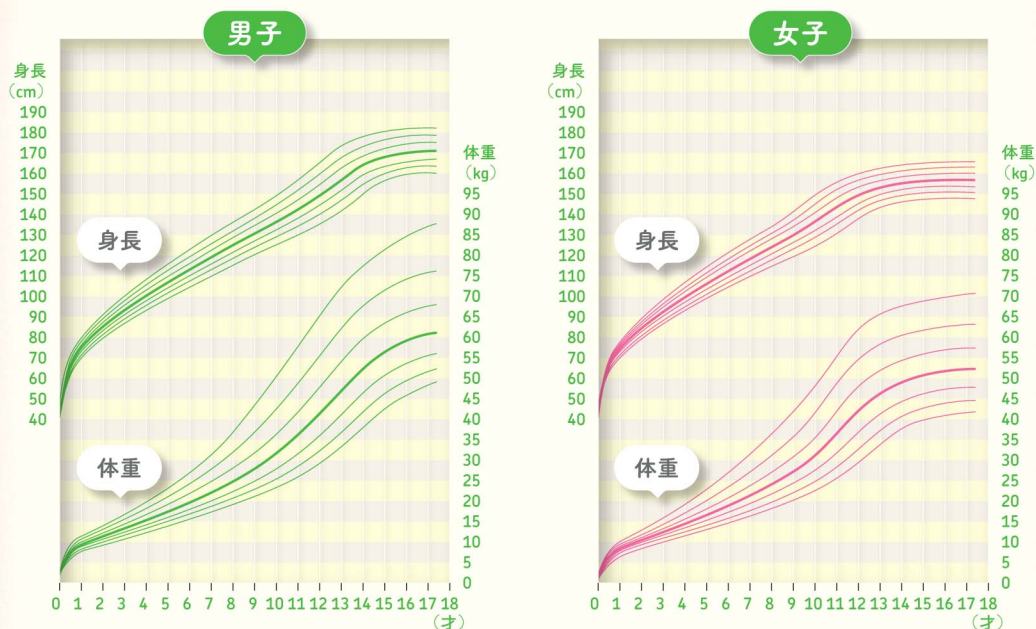
思春期の心と体



男の子はだいたい9～14才から、女の子はもう少し早く、8～14才から第二次性徴期をむかえます。これは「思春期」と呼ばれる時期で、心も体も大きく変化します。身長や体重が急に増え、体つきも男女それぞれの特徴があらわれます。そしてこの時期は、内が

わからず、子どもをつくれる大人の体へとぐんと成長します。思春期はだれもが経験しますが、成長スピードは一人ひとりちがいます。まわりの友だちとくらべて、不安になるかもしれません。あせらず、「それぞれの個性」と考えましょう。

パーセンタイル身長体重 成長曲線



〔厚生労働省「平成12年乳幼児身体発育調査」および文部科学省「平成12年度学校保健統計調査」を元に作成〕

成長曲線は、年齢に対する身長のびと体重の増加を曲線で表したものです。男女別にたくさんの子どものデータを集め、年齢別にその平均値を出してつなげています。ここに書かれている7本の基準線は、どれも正常の範囲内。成長スピードには個人差があり、「正常の範囲」というのは広いことがわかります。これまでの身長や体重をグラフに印をつけると、自分がどの基準線に近いのかたしかめることができます。

体の性と心の性

性別はグラデーション

1巻・2巻では、生理のしくみやなやみについて紹介してきました。生理があるのは女性ですが、この「女性」はあくまで体の性についてです。「性」には体の性のほかに、心の性、好きになる性、表現する性の4つがあります。見た目だけで男性、女性と判断することはできません。体の性と心の性が同じ人が多いですが、「体は女性で心は男性」、「体も心も男性、好きになるのも男性」など、性のあり方はさまざまです。性別は男女にはっきりと分けられるものではなく、あいまい。色にたとえると、グラデーションといえるでしょう。



知っておう

多様な性を知るためのキーワード

セクシュアルマイノリティ

(性的少数者)

生まれ持った性と心の性が一致しない「トランスジェンダー」や、同性を好きな人など、多くの人とは異なる性的な特徴を持つ人のこと。略して「セクマイ」と呼ばれ、人口の3～5%、学校のクラスにたとえると、1～2人の割合でいるといわれます。

SOGI (ソジ)

(Sexual Orientation and Gender Identity)

性的指向(好きになる性)、性自認(心の性)の頭文字を取った言葉。性的多数派も少数派も関係なく、一人ひとりの人権を平等に尊重しようという考えから生まれた言葉。性的少数派を意味する「LGBT」[*]に代わる言葉として使われます。

* LGBT=レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(性別越境者)の頭文字を取った言葉。